

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 米州交流事業費

### 1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔米州〕
- (2) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔米州〕
- (3) 日本研究機関支援〔米州〕

### 2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔米州〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔米州〕

### 3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔米州〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕
- (3) 人材育成グラント〔米州〕

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化(主催)[米州]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本人留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 7,712,902 円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	北米日本研究調査	カナダ 米国	ハワイ大学	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	北米における日本研究の実態を把握するため日本研究調査を実施

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究ネットワーク強化(助成)[米州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 8,883,693 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	カナダ日本研究学会	カナダ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	カナダにおける唯一の日本研究学会であるカナダ日本研究学会の第24回年次大会を幹事校セントメリーズ大学において実施。テーマは、日加間の経済的、商業的、文化的結びつき、日本の文化的、環境的、歴史的、経済的な発展、及び政治的関係等
2	トロント大学図書館	カナダ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	北米等の大学図書館等で日本研究を専門としている若手司書を対象としたトレーニング・ワークショップ。大学院司書課程で学べない日本研究に特化したカタログ、レファレンス、図書館システム、書籍購入、アーカイブ等を短期間で研修し、次世代の司書育成と併せネットワーク構築を図る
3	ブラジル日本研究学会(ABEJ)	ブラジル	2011.05.01 ~ 2013.03.31	ブラジル日本研究学会(Brazilian Association on Japanese Studies: ABEJ)が同国内外からの参加を得て行うシンポジウム。テーマは「ラテンアメリカにおける日本研究—動向、展望および共同研究の可能性」。ラテンアメリカ・アジア・アフリカ学会(ALADAA)や南米アジア協会(アルゼンチン)との関係により、日本研究者間の情報交換、ネットワーク化を図る

1. 日本研究事業費 / (3) 日本研究機関支援 [米州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、該当国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 63,051,149 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	ウォータールー大学	カナダ	2011.04.01 ~ 2012.03.31	The Center for Japanese Studies, Symposium on Japanese Studies in Canada (邦題：日本研究センター「カナダにおける日本研究」シンポジウム)
2	コロンビア大学中世日本研究所	米国	2011.05.01 ~ 2012.03.31	コロンビア大学中世日本研究所と同大学音楽学部が共同で実施する日本古典音楽研究とパフォーマンスプロジェクト1年目。雅楽・邦楽クラスの設置、日本での夏季集中トレーニングなどを通して、3カ年にわたりコースの充実を図る
3	ウエスタンミシガン大学	米国	2011.05.01 ~ 2012.04.30	教員ポスト拡充(中世日本文化)と地域アウトリーチプログラム・コーディネーター拡充(日本文化)及び関連セミナー・ワークショップを実施する3カ年事業の1年目。新規教員の雇用、中西部地域でのアウトリーチ活動、近代日本文化に関するワークショップなどを実施。大学内外での広範な日本文化理解を促進
4	デューク大学	米国	2011.07.01 ~ 2012.06.30	ノースカロライナ州の、デューク大学(ダーラム市)、ノースカロライナ大学UNC(チャペルヒル市)、ノースカロライナ州立大NCSU(州都ラーリー)の3地域の主要3大学において、共同で行う日本研究センター事業3カ年構想の1年目。日本研究フォーラム(月例セミナー)、スタディ・グループ支援事業、教員・院生の研究・出版支援、図書拡充支援、ウェブ開発・拡充などを実施
5	バージニア大学	米国	2011.07.01 ~ 2012.06.30	歴史、メディア研究、人類学の3分野で教員ポストを拡充し、日本と世界の比較・関係に関する研究を深化させる5カ年事業の4年目。平成23年度は、歴史学の淳教授の給与を助成

米州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
6	イリノイ大学	米国	2011. 08. 01 ~ 2012. 07. 31	中西部地域の大学に所属する様々な分野の教員を対象とした日本研究セミナーの2年目。域内の大学が持ち回りでホストとなり、年5回、2名の専門家により歴史・文学・宗教・政治などをテーマとしたセミナーを実施
7	アリゾナ州立大学	米国	2011. 09. 01 ~ 2012. 08. 31	年度毎に設定するテーマに沿って、複合的日本研究拡充を目指す3カ年事業の1年目。平成23年度は「アジア・日本の文学、翻訳、出版」をテーマにセミナー・ワークショップ、アリゾナ州立大学美術館・地域美術館の美術展示、図書拡充、学生・一般向け映画上映事業などを実施
8	ワシントン大学	米国	2011. 09. 01 ~ 2012. 08. 31	人文分野(建築、芸術史、歴史、演劇、宗教学等)の日本研究促進を図る3カ年事業の2年目。平成23年度は客員講師を招へいし、周辺大学との連携、北西岸の大学における出張講義・セミナー等を実施
9	カリフォルニア州立大学サンタバーバラ校	米国	2011. 09. 20 ~ 2012. 08. 31	カリフォルニア州立大学サンタバーバラ校の日本研究の中でも日本近代史分野の拡充を図る3カ年事業の2年目。平成23年度は同分野の教員ポスト新設、夏期講座、客員教授招へい、大学院生向け奨学金の給付等を実施
10	シンシナティ大学	米国	2011. 12. 01 ~ 2012. 07. 31	シンシナティ大学アジア研究プログラム拡充計画の一環として、日本文学担当の助教授クラスのポストを新設し、国際交流基金による3年間の支援終了後のポスト定着までを目指す3カ年事業の1年目。平成23年度は新設ポストに着任する教員の採用活動を実施
11	ファーマン大学	米国	2011. 12. 01 ~ 2012. 07. 31	ファーマン大学アジア研究学部に日本語教員ポストを新設する3カ年事業の1年目。併せて日本文化(ポップカルチャー、美術等)クラス拡充、訪日研修の拡充(学期開始前の短期間)、日本研究会議・シンポジウム、コース開発、などを実施
12	ミシガン州立大学連合日本センター	米国	2012. 01. 01 ~ 2012. 12. 31	日本の文化と環境への理解に関する教育プログラムの創設をめざす3カ年事業の1年目。客員講師招へい(日本の文化と環境)、学生訪日スカラシップ(日本語学習を含む)、インターンシップ支援などを実施
13	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	メキシコ	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	大学院の研究課程におけるメキシコ革命の影響を受けた日本人芸術家をテーマとする公開集中学術セミナー(リサーチ研究会議助成)「北川民治と佐野碩 革命期メキシコの日本人芸術家」の実施、日本研究図書資料拡充にあたっての日本人図書館情報学専門家(那須雅熙 聖徳大学教授)の派遣、和書及び洋書の拡充
14	メキシコ工科大学(ITAM)	メキシコ	2011. 08. 05 ~ 2011. 09. 30	「日本研究コース(通称:吉田茂日本研究講座)」において、日本の政治・外交政策等に関する短期集中講義を行うため、David Potter(南山大学教授)を客員教授として派遣
15	サンパウロ大学	ブラジル	2011. 04. 01 ~ 2012. 03. 31	日本民族学により日本文化の特質を解釈・分析する講座を修士課程学生向けに行うため、安室知(神奈川大学教授)を客員教授として派遣。また、図書拡充助成として、歴史学、民俗学、人類学分野の日本研究専門書を拡充。更に、日本文化研究所付鈴木悌一図書館の蔵書をデータベース化

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 日本研究フェローシップ(学者・研究者 長期) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 59,705,293 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	KNIGHT, Nancy Jane	トロント大学 特任教授	カナダ	早稲田大学	2010.11.22 ~ 2011.04.14	アジアにおける高等教育のリージョナライゼーションー日本の役割
2	MOLCHANOV, Mikhail A.	セント・トーマス 大学 准教授	カナダ	青山学院大学E. S. S	2012.01.16 ~ 2012.06.16	ユーラシアの地域主義と日本の東アジア地域における指導的役割の比較・研究
3	PICARD, Martin	マギル大学 研究者	カナダ	和光大学	2012.03.13 ~ 2013.03.12	日本のビデオゲームの文化
4	QIN, Xiaoli	カナダ・ロイヤル オンタリオ博物館 共同研究員	カナダ	独立行政法人 奈良 文化財研究所	2010.07.16 ~ 2011.07.15	カナダ・ロイヤルオンタリオ博物館所蔵の八木遺跡出土遺物に関する研究
5	ROCKWELL, Geoffrey Martin	アルバータ大学 教授	カナダ	立命館大学	2011.10.02 ~ 2011.12.21	日本のビデオゲーム文化と学習目的に拡張されたリアリティゲーム
6	BATES, Peter	ディキンソン大学 助教授	米国	立命館大学	2010.08.16 ~ 2011.07.15	地震の文化：関東大震災と大正時代の日本
7	BENDER, Shawn	ディキンソン大学 助教授	米国	東京大学	2010.08.20 ~ 2011.07.17	テクノユートピアが現実になる：ロボット工学と日本の高齢化社会マネージメント
8	BODIFORD, William Marvin	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 教授	米国	東洋大学	2011.02.01 ~ 2011.06.22	徳川時代の知的生活における仏教徒の印刷物及び書籍
9	BOROVOY, Amy	プリンストン大学 准教授	米国	国際基督教大学	2011.08.13 ~ 2012.05.12	君をサポートする！日本における社会医学を通じた行動改革
10	CONLAN, Thomas	ボードイン大学 教授	米国	金沢大学	2011.08.02 ~ 2012.08.01	大内氏と日本の幻影時代(1400~1551)
11	COOK, Lewis	ニューヨーク市立 大学クイーンズ校 准教授	米国	国立国文学研究資料館	2012.01.18 ~ 2012.09.17	古今和歌集：古代・近代詩歌の研究
12	KANEKO, Maki	カンザス大学 准教授	米国	東京文化財研究所	2011.07.08 ~ 2012.07.06	国家サービスとしての芸術：戦時中の日本美術(1930~1970)
13	MAEDA, Tamaki	ブリティッシュ・コ ロンビア大学 講師	米国	東京藝術大学	2010.09.06 ~ 2011.09.05	1910~1930年代の日中芸術交流
14	MANABE, Noriko	プリンストン大学 准教授	米国	東京藝術大学	2012.02.01 ~ 2012.09.01	日本におけるミュージカルサブカルチャー：ロック、ヒップホップ、レゲエ、エレクトロニックダンスミュージックの場面メイキング

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	McKELWAY, Matthew Philip	コロンビア大学 准教授	米国	学習院大学	2010.09.16 ~ 2011.08.31	絵のゆらぎ：扇絵の社会的文化的動向
16	METZLER, Mark	テキサス大学オー スティン校 准教授	米国	京都大学	2011.08.16 ~ 2012.08.14	ポストモダンデフレーション：なぜ21世紀のキャピタリズムは違 うのか？
17	OSHIMA, Ken	ワシントン大学 准教授	米国	東京大学	2011.09.03 ~ 2012.09.02	メタボリック東京(1960~2010)
18	PROUGH, Jennifer	バルパライソ大学 助教授	米国	関西学院大学	2012.01.10 ~ 2012.08.02	都再訪：京都観光産業における歴史と遺産
19	SANGO, Asuka	カールトン大学 助教授	米国	東京大学	2010.07.13 ~ 2011.07.12	後光：日本仏教儀礼における力と知識
20	SCOTT, Christopher	マカレスター大学 准教授	米国	日本大学	2011.09.01 ~ 2012.08.31	日本を越えた日本文学：「日本語文学」の地政学
21	ROMAN ZAVALA, Alfredo	エル・コレヒオ・ デ・メヒコ 教授	メキシコ	東京大学	2011.07.30 ~ 2012.01.29	日本ODAの50年—ラテンアメリカの経験
22	HIRATA, Helena Sumiko	フランス国立科学 研究センター リ サーチディレク ター	ブラジル	一橋大学	2011.03.01 ~ 2011.06.30	介護に関する理論と実践—フランス、ブラジル及び日本における 高齢者介護労働者の比較研究
23	KUSANO, Darci Yasuco	サンパウロ大学 准教授	ブラジル	立教大学	2010.09.27 ~ 2011.09.26	寺山修司の世界
24	QUINTERO, Edonodio	ロス・アンデス大 学 教授	ベネズエラ	東京大学	2011.09.01 ~ 2012.06.30	20世紀の主要日本人作家の伝記

## 米州交流事業費

## 2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ(論文執筆) [米州]

人文・社会学の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 102,738,759 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	BECK, Jodie Nicole	マギル大学博士課程	カナダ	日本大学	2010.09.02 ~ 2011.11.01	闘う文学：フェミニストによる日本語のSF
2	BETH, Suzanne	モントリオール大学博士課程	カナダ	名古屋大学	2011.06.05 ~ 2011.12.04	異文化映画研究における方法論
3	FUJIWARA, Gideon	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	カナダ	弘前大学	2010.07.10 ~ 2011.07.09	19世紀日本における神霊とアイデンティティー—平田国学と津軽グループ
4	IVANOVA, Gergana Entcheva	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	カナダ	上智大学	2010.06.01 ~ 2011.07.31	日本近世・近代における平安女性像の考察—受容と創造の観点から—
5	LEE, Victoria	プリンストン大学 博士課程	カナダ	北里研究所	2010.09.01 ~ 2011.08.31	1890~1930年日本の微生物学と産業における科学研究
6	PHAN, Cam Van Thi	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	カナダ	京都大学	2012.02.07 ~ 2013.02.06	悔恨の儀式：前近代中国におけるテキストとしての伝統から宗教的实践へ
7	ARCH, Jakobina	ハーバード大学 博士課程	米国	大阪市立大学	2011.07.02 ~ 2012.07.01	現代日本初頭期における捕鯨の環境的歴史
8	BRIGHTWELL, Erin	プリンストン大学 博士課程	米国	立教大学	2012.03.12 ~ 2012.09.11	鎌倉時代における「中国」
9	BUENO, Alex	プリンストン大学 博士課程	米国	東京大学	2010.09.23 ~ 2011.09.22	デジタル時代の東京：団地、アニメと都市空間
10	CARTER, Caleb	カリフォルニア大学ロサンゼルス校 博士課程	米国	慶應義塾大学	2011.08.23 ~ 2012.08.22	近代日本における修験道の変質：戸隠山をケーススタディとして
11	CLERICI, Nathen	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	米国	北海道大学	2010.09.20 ~ 2011.09.19	「純」でも「大衆」でもない：現代日本文学におけるサブカルチャーのインパクト
12	COOK, Ryan Marshall	エール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010.09.30 ~ 2011.09.29	日本における映画と映画愛好家：戦後から現代に至るまでの芸術と政策
13	CRUZ, Aileen	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	早稲田大学	2011.10.01 ~ 2012.06.30	暴力の回路：文学と日本の帝国モダニティの主題 (1913~1933)

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
14	DILLON, Michael	南カリフォルニア大学 博士課程	米国	一橋大学	2011.09.09 ~ 2012.07.08	デッドゾーン：現代映画における生死に対する支配力と流動性
15	FEENEY, William	シカゴ大学 博士課程	米国	上智大学	2012.02.27 ~ 2013.02.26	「傷つくまで笑う」：日本のコメディにおける暴力のやりとり
16	FRYDMAN, Joshua	エール大学 博士課程	米国	奈良女子大学	2011.08.22 ~ 2012.08.21	歌木簡：銘に見る日本の初期詩歌の研究
17	GOVELLA, Kristi Elaine	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	東京大学	2010.09.30 ~ 2011.09.29	浸透力のある政策決定：多数国間連携と日本における環境分野の協力
18	GUEST, Jeniffer	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010.08.26 ~ 2011.08.25	漢文教育と近代以前の日本文学文化の基礎(900~1250)
19	HEDBERG, William Christopher	ハーバード大学 博士課程	米国	東京大学	2011.01.11 ~ 2011.03.15	徳川時代の日本における白話文学の翻訳と受容
20	HEMMANN, Kathryn	ペンシルバニア大学 博士課程	米国	大阪大学	2012.01.01 ~ 2012.04.30	処女と魔女：現代日本文学における文体と女性の主観性の形成
21	HILL, Megan	ミシガン大学 博士課程	米国	東京大学	2011.09.16 ~ 2012.09.15	アーバンオーラルエージェンシー：東京浅草混合音の社会的効果
22	HOLLOWAY, David	ワシントン大学 博士課程	米国	立正大学	2011.08.19 ~ 2012.07.18	美を超えて：金原ひとみ、川上未映子、長谷川順子そして現代日本文学における文体
23	HUMPHREY, David	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	東京大学	2011.09.30 ~ 2012.09.29	コミック：日本のコメディ、感情とテクノロジー
24	ICREVERZI, Kimberly	カリフォルニア大学アーバイン校 博士課程	米国	明治学院大学	2010.09.15 ~ 2011.09.14	佐藤政権時代(1964~1972)の政治的映画の行き詰まり：「本当の女性」問題
25	INGRAM, Evan	ハーバード大学 博士課程	米国	筑波大学	2012.01.31 ~ 2013.01.30	重源と東大寺再建
26	LAZARUS, Ashton	エール大学 博士課程	米国	東京大学	2011.08.31 ~ 2012.08.30	美的芸術、作品の威光：田楽・今様・猿楽におけるテキスト、イメージとパフォーマンス
27	LEBARON VON BAEYER, Sarah	エール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2011.06.27 ~ 2012.02.28	トランスナショナルワールドと民族的な生活：日本とブラジルにおける、また二国間の日系移民
28	MAYO, Christopher Michael	プリンストン大学 博士課程	米国	関西大学	2010.08.30 ~ 2011.08.29	絆：戦国時代の太友氏による贈与と商品取引
29	MITCHELL, Matthew	デューク大学 博士課程	米国	大阪市立大学	2012.01.01 ~ 2012.12.31	近代宗教サイトの調査と信濃地方善光寺にみるそれらの領土



米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
30	MORISHIMA, Yuki	ピッツバーグ大学 博士課程	米国	東京大学	2010.09.03 ~ 2011.06.02	天皇の肖像：政治的儀式的慣習
31	NELSON, Linsay Rebecca	南カリフォルニア 大学 博士課程	米国	筑波大学	2010.08.20 ~ 2011.07.19	日本文学及び映画におけるモンスターチルドレン
32	NUFFER, Laura	ペンシルバニア大 学 博士課程	米国	慶應義塾大学	2011.09.18 ~ 2012.05.17	動物の魅力：中世日本文学における異類婚姻譚
33	RIO, Aaron Michael	コロンビア大学 博 士課程	米国	東京大学	2010.08.01 ~ 2011.07.31	中世日本の禅画における漢詩と神聖な像
34	RITTER, Gabriel	カリフォルニア大 学ロサンゼルス校 博士課程	米国	東京国立近代美術 館	2011.09.06 ~ 2012.09.05	北脇昇と日本のシュールレアリズム (1930~1951)
35	SAEKI, Eiko	ラトガース大学 博 士課程	米国	早稲田大学	2010.09.09 ~ 2011.09.08	曖昧な生命の境界：西洋医学と日本の地方の知識の結合
36	SAILE, Florian	カリフォルニア大 学パークレー校 博 士課程	米国	龍谷大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	成仏の可能性に関する議論—中世の法相論議における「五姓各別」の解釈の展開の研究
37	SAUNDERS, Rachel	ハーバード大学 博士課程	米国	東京大学	2011.10.03 ~ 2012.09.30	天国に触れる：家父長の肖像、奇跡的な起源と鎌倉期巻物の魔術的詩学
38	SCHIEDER, Chelsea Szendi	コロンビア大学 博 士課程	米国	早稲田大学	2010.09.04 ~ 2011.09.03	女性殉教者、革命派と魔性の女達：日本の新左翼におけるジェンダー、コミュニティ、暴力
39	SCHRAMM, Katharine	インディアナ大学 ブルーミントン校 博士課程	米国	琉球大学	2012.03.09 ~ 2013.01.08	宮古島のパーントゥ：沖縄における儀式、アイデンティティ、遺産
40	STILERMAN, Ariel Gustavo	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2011.09.13 ~ 2012.09.12	日本古典文学における散文—詩のダイナミクス
41	TAKAI, Shiho	コロンビア大学 博 士課程	米国	早稲田大学	2010.09.26 ~ 2011.09.25	社会的垣根を越えて：江戸時代の人気舞台における犯罪と女性及び法
42	THOMPSON, Luke	コロンビア大学 博 士課程	米国	佛教大学	2011.09.28 ~ 2012.09.27	釈迦牟尼の中世改革と歴史上の日本仏教徒説法の出現
43	TILTON, Ellen Cystal Boling	エール大学 博士課 程	米国	早稲田大学	2010.08.05 ~ 2011.08.04	4人の戦後日本女性作家作品における家族と文学形式
44	VARNER, Melinda	カンザス大学 博士課程	米国	福岡大学	2011.09.07 ~ 2012.06.06	近代の将軍の茶道の社会政治的な特徴

## 米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
45	VEKASI, Kristin E	ウィスコンシン大学マディソン校 博士課程	米国	東京大学	2010.09.02 ~ 2011.09.01	お役所仕事、米ドル紙幣：日中関係における政治紛争と経済論理
46	WOOLLEY, Charles	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2011.09.11 ~ 2012.09.10	異国情緒を書く：18~20世紀の日本文学における他の場所と物語の空間
47	YI, Christina	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010.09.19 ~ 2011.09.18	強制的なコラボレーション：1930年代から80年代にかけての韓国人作家による日本語文学作品制作と受容
48	STERNSDORFF CISTERNA, Nicolas	ハーバード大学 博士課程	チリ	上智大学	2011.09.01 ~ 2012.09.30	国のテースト：現代日本における食の政治とナショナリズム
49	KIKUCHI, Wataru	サンパウロ大学 博士課程	ブラジル	神奈川大学	2011.07.11 ~ 2011.11.30	現代日本社会の上下関係
50	SILVA, Victor Hugo Martins Kebbe	サン・カルロス連邦 大学 博士課程	ブラジル	静岡大学	2010.06.01 ~ 2011.05.31	出稼ぎ労働者の親族関係

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ(学者・研究者 短期) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 14,197,264 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	MANICOM, James	ウォータールー大学 ポストドクトラル・フェロー	カナダ	海洋政策研究財団	2011.06.04 ~ 2011.08.01	問題海域に橋をかける—中国、日本、そして、21世紀の東アジアにおける海洋秩序
2	SORNIN, Alexis Stephane	カナダ建築センター研究所 所長	カナダ		2011.09.16 ~ 2011.10.13	近現代日本建築に関するカナダ建築センター図書館コレクション
3	HIRAYAMA, Mikiko	シンシナティ大学 准教授	米国		2011.06.09 ~ 2011.07.02	ニューレアリズム：戦時中の日本美術批評
4	HOCKLEY, Allen	ダートマス大学 准教授	米国		2011.11.07 ~ 2011.12.11	明治期におけるビジュアルライジングヒストリー
5	KERN, Adam	ウィスコンシン大学マディソン校 准教授	米国		2011.06.11 ~ 2011.08.08	国文学研究資料館での「ペンギンブック 俳句」に関する研究
6	MCGEE, Dylan	名古屋大学 准教授	米国	名古屋大学	2011.07.22 ~ 2011.09.08	近代日本における異書体表記と読者受容の重要性
7	LOVE, Bridget	オクラホマ大学 講師	米国		2011.06.17 ~ 2011.07.17	持続不可能な発展：日本の地方部における人口減少、高齢化、再生
8	ROSS, Kerry	デポール大学 准教授	米国		2012.01.10 ~ 2012.02.27	カメラの民主化：20世紀初頭日本における消費と写真手法
9	SCHALOW, Paul	ラトガース大学 教授	米国		2011.06.24 ~ 2011.08.21	藤原頼長『台記』を通じた平安文学におけるジェンダーとジャンルを探求
10	SHERIF, Ann	オバリン大学 教授	米国		2011.06.02 ~ 2011.07.01	活字への回帰：被災後の出版と文学—1945年から
11	SOTOZAKI, Hiroko	ウェスタンイリノイ大学 准教授	米国		2011.06.17 ~ 2011.07.23	ひらがなは漢字習得技術を予見できるか？
12	ZWICKER, Jonathan	ミシガン大学 准教授	米国		2011.06.30 ~ 2011.08.19	印刷時代における動画：スクラップブックと日本映画初期アーカイブ
13	MORALES MATSUBARA, Leiko	サンパウロ大学 准教授	メキシコ	上智大学	2011.10.31 ~ 2011.12.28	在日ブラジル人と帰国生のバイリンガリズム：日本語とポルトガル語に関する言語能力、言語意識、言語態度
14	NAMEKATA, Marcia Hitomi	パラナ連邦総合大学 教授	メキシコ	東京外国語大学	2012.01.09 ~ 2012.02.22	『心中天網島』：近松門左衛門の著作は最初から現在まで

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	TANAKA, Michiko	コレヒオ・デ・メ ヒコ 教授	メキシコ	早稲田大学	2011.06.21 ~ 2011.08.06	日本における北側民次の活動と作品の所在
16	PEINADO, Javier	ハベリアナ大学 准教授	コロンビア	京都女子大学	2011.09.17 ~ 2011.10.16	ヴィジュアル民族誌比較：日本とコロンビアにおいて技術媒体が 都市全体に及ぼす影響
17	OKANO, Michiko	サンパウロカト リック大学 研究員	ブラジル		2011.02.07 ~ 2011.03.10	多文化共生の街—日本における中国、韓国及びブラジル移民の街

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議(主催) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 4,710,820 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	メキシコ日本研究セミナー	メキシコ	メキシコ国立自治大学映像センター	2012.03.09 ~ 2012.03.14	東日本大震災後1年のメモリアル事業。被災者への鎮魂、被災地での救援活動と地域復興、自然災害と建築についてのパネルディスカッションと東日本大震災映像の上映会を実施
2	復興のためにアートは何ができるか	ブラジル		2012.03.01 ~ 2012.03.31	宮城県石巻市で仮設住宅壁画プロジェクトに関わったグラフィティ・アーティストのTiti Freakによる講演会と、事業開発戦略室が作成した東日本大震災映像の上映会を実施

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議(助成) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 27,297,856 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	「現代日本の文化・社会へのアクセス」2012	東アジア地域区分困難 大洋州地域区分困難 米国 欧州地域区分困難	国際文化会館	2011.04.01 ~ 2012.03.31	海外の日本情報専門家や若手日本研究者が国境や職業の枠を超えて結びつき、多様な面での相乗効果を得られる国際相互理解を通して人的ネットワークを構築することを目的に、現代日本情報の探索、収集技術に関するワークショップを開催
2	Mangaとグローバル文化	アジア地域区分困難 オーストラリア 米国 欧州地域区分困難	鶴見大学	2012.03.15 ~ 2013.03.31	漫画というメディアが言語や習慣の壁を越えて世界各国の文化に受け入れられ、日本文化理解の促進につながった事実注目し、カナダ、米国、英国、オーストラリア、日本の5カ国の専門家が集うシンポジウムを実施
3	人間の安全保障と自然災害	大洋州地域区分困難 欧州地域区分困難	早稲田大学	2012.02.20 ~ 2012.02.22	東北の震災、また他国の過去の災害を例にとり、自然災害は人間の安全保障の観点において組み込むことが可能か否かを考える国際会議。自然科学・社会科学の専門家、国連関係機関、市民社会団体などの多様な人材を招へいして実施

米州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
4	愛すべき敗者たち：平家、その行為と記憶	カナダ	アルバータ大学	2011.05.01 ~ 2012.03.31	源平合戦の敗者でありながら、日本の文学・文化の世界で愛されている平家に焦点を当て、歴史、文学、文化など多様な分野の日本研究者を招へいた国際会議を開催
5	グローバリゼーション時代における日本の教育：新たなコンテキストの中の継続的な課題	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	2011.04.26 ~ 2011.10.01	カナダ、米国、オーストラリア、日本から14名の教育、人類学、政治学、社会学等の多様な分野の研究者が論文を持ち寄り、日本の教育改革を社会や経済の変動の文脈の中で捉え議論する国際シンポジウムを実施。成果は、2013年に書籍『Japanese Education in an Era of Globalization』として出版
6	ブリティッシュ・コロンビアが学べきこと	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	2012.03.15 ~ 2012.03.17	環太平洋地域で起こりうる自然災害について研究する、日本・カナダの学術団体と政策実施者との相互理解を深めるためのプロジェクト。カナダの専門家による被災地視察、日本側専門家とのネットワーキングと情報収集を経て、カナダでワークショップを実施。東日本大震災復興支援事業
7	3.11：課題、研究とその教授法	米国 欧州地域区分困難	上智大学比較文化研究所	2012.03.15 ~ 2013.03.31	2日間にわたる会議を実施し、多様な専門性を持つ参加者が東日本大震災のどのような側面を如何に教えるかについてシラバスを持ち寄り発表。更に、分野別のパネルで議論。報告書の作成と併せて、カリキュラムや教材のデータベース化とウェブ公開も実施
8	震災復興特別シンポジウム「災害復興・平和構築と市民の力」	米国	日本NPO学会	2012.03.17	世界各地で発生した大災害の事例を元に、災害後の市民の行動に共通する力の所在と可能性について議論する国際シンポジウム。研究者、ジャーナリスト、実務家等、様々な立場の専門家が参加
9	日米欧のユーラシア境界研究・連携プロジェクト	米国 欧州地域区分困難	ユーラシア研究・日米交流委員会	2011.05.01 ~ 2012.03.30	米国と日本の境界研究者が中東欧の研究者と協力し、ワルシャワで「ユーラシアにおけるボーダー(境界)と平和構築：日米欧の経験と協力」のテーマで議論を実施
10	ベンチャー・フィランソロピー・モデルの普及啓発事業	米国 英国	AVPNジャパン	2011.11.17 ~ 2012.03.31	ベンチャー・フィランソロピーのコンセプトと運営モデルを紹介するセミナーとワークショップを開催。講演会には100名、ワークショップには30名の研究者、NPO/NGO関係者などが参加
11	セミナー「日本の防潮林」	ホンジュラス	北海道森林ボランティア協会	2012.02.01 ~ 2012.02.14	防潮林の機能や限界、また植林活動の重要性についての理解を深める目的で、東日本大震災の事例を踏まえ、日本の防潮林についてのセミナーを実施
12	出稼ぎ第2世代から見えるトランスナショナルな日系アイデンティティを検証する	ブラジル	浜松学院大学地域共創センター	2011.04.01 ~ 2012.03.31	サンパウロにて、親の出稼ぎなどにより国際移動を繰り返す子供のアイデンティティの変容に関するエスノグラフィ記録映画を上映。更に、デカセギの意義とデカセギが家族にもたらす影響についての国際シンポジウムを実施。約200名が一般来場
13	第2回日本・ペルー学長会議	ペルー	東海大学	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「人間の安全保障とグローバル社会における大学の役割」をメインテーマとし、日本・ペルー両国の19大学・研究機関の学長・代表者を招へいし、実施する国際会議

米州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
14	京都インターナショナルコンテンツポラリーテキスタイルアートセンター オリリズム実行委員会	米州地域区分困難 欧州地域区分困難	オリリズム実行委員会	2012.03.15 ~ 2013.03.31	世界で活躍する織物作家12名が集まり、作品を発表するとともに、様々な交流の場となるシンポジウムを開催
15	日本と海外の文化交流の今後	欧州地域区分困難	国際児童青少年演劇フェスティバル大阪実行委員会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	児童・青少年を対象とした演劇フェスティバルの期間中、国内外からパネリストを招へいして「文化交流の今後」をテーマとした国際シンポジウムを実施
16	2011国際環境教育フォーラム	ブラジル	日伯文化協会	2011.04.01 ~ 2012.03.31	「日本の里山文化とブラジル大西洋沿岸森林の再生」をテーマとした国際会議。学生や環境問題に関わるNPO関係者等が多数参加

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 人材育成 Grant [米州]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 3,882,600 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	日本カナダ学術連携フォーラム	カナダ	立命館大学	2012.02.21 ~ 2012.02.27	「日本カナダ学術コンソーシアム」に所属する日加両国大学から各15名の学生が集い、「震災後の日加協力と相互理解」をテーマに講義やグループワークを実施。最終日にはグループでの成果発表も実施
2	ステラリーダーシップフォーラム 2011	米国	ステラ・ジャパン	2011.08.15 ~ 2011.08.23	米国スタンフォード大学で開催される9日間の合宿型フォーラムを実施。科学技術に関する国際問題に関心のある日・米・中・仏の大学に籍を置く学生45名が参加し、リーダーシップ・プログラム、分科会、グループ・プロジェクトなどを実施。「環境の持続可能性」をテーマに、分科会ではエネルギー、生物多様性、水資源の3点に着目
3	第63回日米学生会議	米国	日米学生会議	2011.07.28 ~ 2011.08.21	社会問題解決の糸口を探ると共に、学生会議の意義を再考することを目的に、日米両国の学生71名が1カ月間日本各地を視察し、政治・経済・文化などの分野にわたり、専門家も交えて討論を行う事業。本年は震災の分科会が新たに設けられ、最終的には日米両首脳への震災に関する提言書も作成
4	日米青少年親善文化交流と意見交換	米国	特定非営利活動法人横浜旭ベースボールクラブ	2011.08.03 ~ 2011.08.06	日本の青少年の国際感覚を養うため、米国サンディエゴ市の中学生24名を神奈川県横浜市に招待して親善文化交流と意見交換をする事業。日本側からは132名が参加、食文化や教育制度、野球制度の違いについて討論会を実施
5	日本現代ファイバーアートに関するシンポジウム	米国	国際テキスタイルネットワークジャパン	2011.06.04 ~ 2011.12.18	日本現代ファイバーアートの展覧会を開催し、併せて、連携したシンポジウムをニューヨークで開催。世界で評価されている日本のファイバーアートの仕事と人材を通して、日米両国の文化交流を深めると共に、若手作家も参画させることで今後のファイバーアート分野を担う若い世代を支援